

持続可能な世界を実現し，Society5.0を牽引する グローバル・リーダーの育成



2022.2.21 WWL 成果発表会

令和元年度指定

管理機関：金沢大学

事業拠点校：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校

*金沢大学附属高校とは

- ・正式名称

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
(国立)

- ・創立75年

- ・1学年3クラス(約120人)

全校生徒約360人の小規模校

- ・教職員(常勤)は、校長・養護教諭を含め23人

- ・自由な校風(夏服自由化など)

- ・学力が高い生徒が多い

*金沢大学附属高校とは

- ・2014年度から5年間SGH校に指定
- ・2019年度からWWLコンソーシアム構築支援事業拠点校に指定(指定3年目 管理機関:金沢大学)
- ・総合的な学習(探究)の時間に力をいれている

*WWL事業の構想名（テーマ）

持続可能な世界を実現し, Society5.0 を
牽引するグローバル・リーダーの育成

持続可能な世界を実現し、Society5.0を牽引するグローバル・リーダーの育成

人類の一員として自己の使命を認識した上で、国際社会で積極的にその使命を果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・人間力を備えた人材を養成



醸成する
資質・能力

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え、価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む

≪ 3つのアライアンスの確立 ≫

1. 北陸圏域内の高校
2. 海外の高校
3. 社会(企業等)

≪ 高大接続改革によるアドバンス・プレースメントの拡充 ≫
“高度な学びの提供”とアドバンス・ラーニングの促進

SGU事業に
採択中の
金沢大学が
管理機関だから
実現可能な
相乗的推進

2. 海外の高校とのアライアンス確立

- ・SDGsをテーマとした共同学習を実施(Skype等活用+現地実習)
- ・SDGs国際会議を開催

≪ 事業連携校 (海外) ≫

- ・台湾師範大学附属高級中学 (台湾)
- ・シンガポール経営学院インターナショナルアカデミー (シンガポール)
- ・マヒドン高等学校 (タイ)
- ・キングモンクット工科大学 トンブリ校附属高等学校 (タイ)
- ・上海七宝中学 (中国)

SGU採択 (H26-35)



3. 社会(企業等)とのアライアンス確立

- ・SDGsをテーマとした社会と直結する学習に対して、継続的な人的支援(高校生への指導・助言・評価等)と、財政支援(外部資金の獲得)

≪ 協働機関 ≫

- ・国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
- ・ユネスコ・アジア文化センター
- ・JICA北陸
- ・金沢青年会議所
- ・日本政策金融公庫
- ・北陸財務局

金沢大学基金
附属高校グローバル
リーダー育成基金
(H30~受入開始)

金沢大学の
バックアップの
もと、支援終了
後の事業継続に
向けた新たな企業
ファンドを設立

既に
北陸圏域の
多数の企業等
から人的支援・
財政的支援の
協力の申し出

1. 北陸圏域内の高校とのアライアンス確立

- ・金沢大学が主催するAPプログラムへの参画(金沢大学単位認定含む。)
- ・SDGsフォーラム等で探究学習の成果を発表
- ・各アライアンス校が有する教育実績と国内外のネットワークを相乗的に活用

≪ 事業連携校 ≫ 石川県教育委員会、富山県教育委員会、福井県教育庁と協力

- ・石川県立金沢泉丘高等学校
- ・石川県立金沢二水高等学校
- ・石川県立小松高等学校
- ・石川県立七尾高等学校
- ・富山県立高岡高等学校
- ・福井県立高志高等学校

SDGsを題材とした教育の中で高校・大学教員が協働して、
情報教育(データサイエンス)に関する新たな科目を開講



金沢大学が開講する“高度な学び”を
より多くの高校生へ!



*北陸アドバンスト・ラーニング・ネットワークの構築

○3つのアライアンス(連携)

1. 北陸圏域の高校とのアライアンスの確立

石川県立金沢泉丘高校、金沢二水高校、七尾高校、小松高校

福井県立高志高校、富山県立高岡高校

2. 海外の高校等とのアライアンスの確立

シンガポールNJC

3. 社会とのアライアンスの確立

OUIK(国連大学サステイナビリティ高等研究所 いしかわ・

かなざわオペレーティングユニット), 日本政策金融公庫,

北陸財務局, 金沢青年会議所, 地元企業

*先進的なカリキュラムの研究開発・実践

※総合的な探究の時間を土台

◎地域からグローバルへ展開する社会課題研究

SDGs (11 住み続けられるまちづくり) を目指して
1年生「地域課題研究」(2単位)



2年生「グローバル課題研究」(1単位)



3年生「グローバル・キャリアパス」(1単位)

*先進的なカリキュラムの研究開発・実践

1年生「地域課題研究」

↓ 地域の課題を発見・解決策の提案

2年生「グローバル課題研究」

↓ ゼミ形式でグローバルな課題を研究

3年生「グローバル・キャリアパス」

自己の経験をまとめ、将来設計を立てる

*「地域」→「グローバル」→「自己」

「グローバル課題研究」の成果物

HOW TO MOTIVATE YOUNG GENERATION TO PRESERVE TRADITION?

Rina Matsuo, Ruka Nakada, Momoa Mukai

BACKGROUND

It is unclear whether young people understand the importance of traditional culture. In addition, with a shortage of successors, it's difficult to preserve the culture unless the younger generation is aware of it.

Main RESEARCH QUESTION

How to motivate young generation to preserve tradition?

Sub RESEARCH QUESTION

What is the value of tradition?

How much young generation have consciousness?

HYPOTHESIS

● To construct to Identity traditional culture characterize its region



● Ancient wisdom
Culture includes the original concept or notion

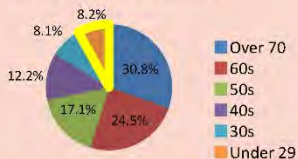
The essence : **how to make it**

- ⊕ duck meat
- ⊕ beef shrimp OK!!

● Love
Special memory or specific experience make ties between person and culture

● From data
Young generations tend to be **indifferent** to tradition.

Age composition of traditional life culture group's member



● From experience of cultural education

Get knowledge through lessons
⇒ **✖ action**

FUTURE PLAN

- Interview on employees .
- Literature survey

- Interview on teenagers to research their true feeling

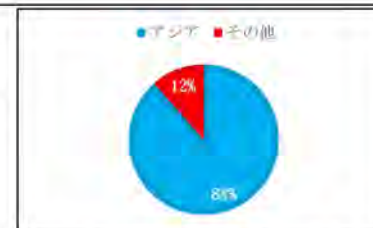
ムスリムのニーズに配慮した街づくり ～ハラールフードを手に入れやすくする～

要旨

宗教的な食事制限のあるムスリムだが、イオンのような大手のスーパーでさえも、そのニーズに対応した商品は売っていない。本研究は、金沢に住むムスリムがより快適な食生活を送るために、ハラールフード(ムスリムが食べることのできるもの)を手に入れやすくし、一目で食べていいものか分かるような表示を作ることで買い物の負担を減らすことを目標とした。

1. はじめに

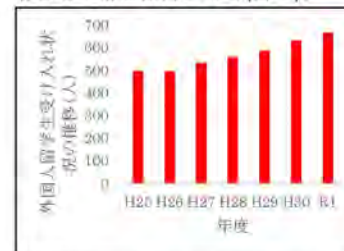
筆者がムスリムという言葉に初めて出会ったのは高校1年生の3月である。新聞を読んでいた時に、富山県でまず葬し(注1)が国内初のハラール認証(注2)を取得したという記事を見つけ、ハラール認証とは何か関心を持った。



(図2)地域別外国人留学生受け入れ状況【3】

2. 金沢市内に住むムスリム

金沢大学の留学生の数は平成25年度で497名だったのが令和元年度では666名となり増加傾向にある(図1)。



(図1)金沢大学の外国人留学生受け入れ状況の推移【1】

留学生の数を地域別で見ると、アジアが全体の約90%を占めている(図2)。

外国人留学生は必ずしも20歳前後とは限らず、家族連れの人もある。そのため、2019年度のインドネシア人留学生は122人だったが、それ以上の人数が金沢市に住んでいると推察できる。また、留学しているのではなく元々金沢に住んでいる人もいるということを考慮して、金沢市には一定数のムスリムが住んでいると考えた。

※以下は【1】一般社団法人ハラール・ジャパン協会、【2】留学実績 | 金沢大学を参考にした。

3-①. ムスリムについて

ムスリムとはアラビア語の「神に帰

○グローバル・キャリアパスについて

・内容

①「学びの履歴書」作成：2年間の経験と学びをまとめる。

②「学びの設計書」作成：自己の分析と、将来の目標設計

③オンラインキャリアパスの実施

さまざまな学部の卒業生15人を招き、8週にわたり(オンラインで)講話を行った。

*海外の高校とのネットワークの構築

○2年生がシンガポールNJCと協働研究

- ・slackやZoomを用いて、コミュニケーションをはかる
- ・シンガポール海外研修で発表を予定していたが
新型コロナウイルスの流行に伴い、中止

NJC生徒とのZoom会議



*文理融合された「グローバル探究」等の新たな教科・科目の設定

新教科(科目)「国際教養 基礎」 1年:1単位

リサーチスキルやファシリテーション能力を学習

「国際教養 基礎」・・・理論

 往還

「地域課題研究」

「グローバル課題研究」・・・実践

*文理融合された「グローバル探究」等の新たな教科・科目の設定

○「国際教養 基礎」

内容

- ・プレゼンテーションの基本
（ポスター作成・話し方）
- ・フィールドワークの基本
- ・さまざまな思考法
- ・国際理解「世界を正しく理解するには」 など

「国際教養 基礎」 授業の様子



* 高校生国際会議の開催

第1回 令和3年3月20日(土) オンライン開催

※SGH「北信越フォーラム」を発展的に継承

・4テーマ12分科会(3分科会が英語)

・参加者:国内連携校+北信越3校+エジプトやアメリカなどの海外在住者(述べ参加人数66人)

・助言者:大学教授,行政職員,起業家,民間企業社会人

* 高校生国際会議の開催

第1回 令和3年3月20日(土) オンライン開催

「パンデミックの時代に私たちはどう生きるか」

分科会A:地球温暖化と異常気象・災害

分科会B:科学技術のこれから

分科会C:コロナ禍で考える私たちの学び

分科会D:高校生ソーシャル・イノベーション

* 高校生国際会議の開催

第2回 令和3年8月6日(金) オンライン開催

・4テーマ10分科会

参加者:国内連携校+北信越4校+東北1校
+シンガポールNJC

[述べ参加人数143名(午前24名,午後119名)]

英語ファシリテーター:金沢大学留学生

* 高校生国際会議の開催

第2回 令和3年8月に実施(オンライン)

「Zoom Out/In on the Universe to Find Your New Self」

分科会A: Social Welfare under COVID-19

分科会B: Career Development

分科会C: Cross-cultural Affairs

分科会D: Comprehensive Approach to
Contemporary Social Problems

* 高校生国際会議の開催

第1回からの変更点

「教員主催」から「生徒主体」へ

「日英併用」から“All English”へ

「プロジェクト立上げ／ブレインストーミング」
から「探究の中間発表／ディスカッション」へ

* 大学教育の先取り履修を単位認定する取組

<概要>

- ・令和3年度に 科目等履修生の出願資格を「高等学校等に在学している者」へ拡大
- ・WWL事業の検証として附属高校生5名を上限に検定料、入学料、授業料は不徴収

<状況>

- ・面接審査等を経て附属高校から5名入学
(1年2名、2年3名)
- ・科目名「細胞の自己制御と化学反応」(第4Q)

*その他

①総合的な探究の時間の変化

異学年交流による刺激

「異学年交流ポスターセッション」(2021.11.19)



*その他

②「e-Museum」の開設(今年度末に公開予定)

- ・高校生の研究の成果物をストックできる場所がほしい。
- ・検索機能つき
- ・公開範囲の拡大

本校→連携校(参加希望校)→世界

*その他

②「e-Museum」の開設

金沢大学附属高等学校 2021年度
WVLコンソーシアム構築支援事業

ホーム 事業概要 活動状況 実施体制 過去の取組

Society 5.0時代に向けて
イノベーティブなグローバル人材を育成

The screenshot shows a web browser window displaying a website. The browser's address bar shows the URL 'kushs-www.jp'. The website's header includes the title '金沢大学附属高等学校 2021年度 WVLコンソーシアム構築支援事業' and a navigation menu with items: 'ホーム', '事業概要', '活動状況', '実施体制', and '過去の取組'. A language selector 'EN' is visible in the top right corner. The main content area features a large background image of a futuristic cityscape at dusk. Overlaid on this background is a network of white dashed lines connecting several circular icons. The icons include: a hand holding a smartphone with social media icons; a construction crane; a globe with network connections; a group of people in a meeting; a group of students in school uniforms looking at a display board; a group of people working together; a group of people in a meeting; and a group of people in a meeting. The text 'Society 5.0時代に向けて イノベーティブなグローバル人材を育成' is prominently displayed in the upper left quadrant of the main content area. The Windows taskbar is visible at the bottom of the screen, showing the search bar, taskbar icons, and system tray information including the date '2021/11/20' and time '8:23'.

②「e-Museum」の開設

The screenshot displays the website for Kushshu University High School (kushs-wvl.jp). The page features a 'NEWS' section with a date of 2021.03.31 and a notification about the homepage update. Below this is an 'ACTIVITY STATUS' section with four items: '01 高校生探究成果物', '02 高校生探究成果物 (限定公開)', '03 NJC(Singapore) Collaborative Study', and '04 高校生国際会議'. The 'LINKS' section lists various partner schools and organizations, including '石川県立金沢泉丘高等学校', '石川県立金沢二水高等学校', '石川県立小松高等学校', '石川県立七尾高等学校', '富山県立高岡高等学校', '福井県立高志高等学校', '福井県立高志中学校', and 'ワールド・ワイド・ラーニング コンソーシアム構築支援事業'.

NEWS 新着情報

2021.03.31 お知らせ ホームページを公開いたしました

VIEW ALL

ACTIVITY STATUS
活動状況

01 高校生探究成果物
— READ MORE

02 高校生探究成果物 (限定公開)
— READ MORE

03 NJC(Singapore) Collaborative Study
— READ MORE

04 高校生国際会議
— READ MORE

LINKS
連携校 / NJC / 協力機関

石川県立金沢泉丘高等学校

石川県立金沢二水高等学校
Kanazawa Nisui High School

石川県立小松高等学校

石川県立七尾高等学校

富山県立高岡高等学校

福井県立高志高等学校
福井県立高志中学校

NATIONAL
Nippon College

ワールド・ワイド・ラーニング
コンソーシアム構築支援事業
World Wide Learning

* その他

③ 次年度以降

- ・WWL事業 1年延長
- ・大学から予算をもらい(金額はまだ未定)、自走は可能